



躰道ニュース

第5号

編集：NPO法人日本躰道協会
 発行所：東京都中野区中野3-32-10(アヤベビル2階)
 TEL(03)3384-2726 FAX(03)3380-1408
 メールアドレス：office@taido.gr.jp
 ホームページ：http://taido.gr.jp
 印刷：ヨシダ印刷株式会社 TEL(03)5637-1281

平成20年度 NPO法人日本躰道協会通常総会開催

去る5月25日(日)13時30分より、平成20年度NPO法人日本躰道協会通常総会が中野サンプラザ8階1番研修室において開催された。会に先立ち、ご臨席賜った二代宗家祝嶺正献代行工藤依子様よりご挨拶を頂き、その後、中島章皓会長より挨拶があった。

審議事項に先駆け、議長に山田嘉基氏(東京城西地区)が全会一致で選出され、議長より議事録署名人として北出春樹氏及び高橋忠美氏の2名が指名された。

引き続き議案審議に入り、平成19年度の事業報告、同年度の決算報告及び平成20年度の事業計画、同年度の予算案が審議され原案どおり了承された。

審議上、普及活動に重点を置いた事業計画及び予算にすること、また海外への選手の派遣や海外からの躰士の受け入れなど国際交流の場への援助等の意見もあった。中島会長、安部理事長及び各局長から実態なり考え方の説明があり、執行部より今後、段階的にバランスを取りつつ運営システムの見直し、調整を検討する旨の考えが示された。

第5号議案 NPO法人日本躰道協会理事・監事選出の件では、各ブロックから推薦の理事・監事等の説明が事務局より行われこれは全会一致で承認され、新理事における互選の結果、会長に中村正弘氏、副会長に志摩制基氏が就任、理事長については安部幸史郎氏が再任することとなり、三者より挨拶があった。また、第6号議案では定款を変更し国際局を新設をすることで承認された。

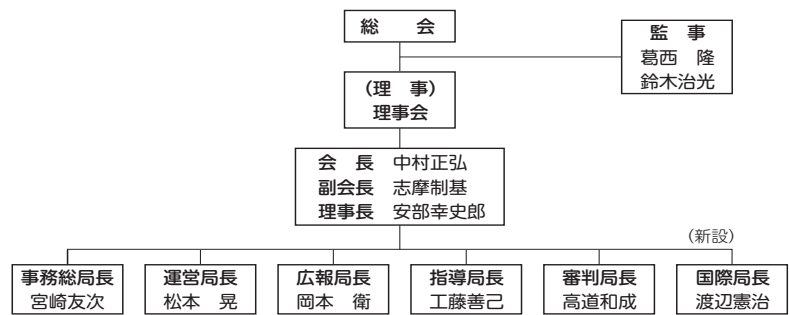
その他、先に開催された理事会(5月11日)において来年度開催の第5回世界躰道選手権大会の開催地が広島県に決定した事などが発表され、16時、総会とはどこおりなく無事閉会となった。

.....NPO法人 日本躰道協会 理事・監事名簿.....

【平成20年6月1日～平成22年5月31日】

区分	氏名	区分	氏名
会長(関東地区代表)	中村 正弘	理事(関東地区代表)	高道 和成
副会長(北海道・東北地区代表)	志摩 制基	〃(関東地区代表)	岡本 衛
理事長(関東地区代表)	安部幸史郎	〃(関東地区代表)	松本 晃
理事(北海道・東北地区代表)	八木 政明	〃(甲信地区代表)	板山 昌司
〃(北海道・東北地区代表)	木村 孝允	〃(北陸地区代表)	泉 智慶
〃(北海道・東北地区代表)	今野 清男	〃(東海地区代表)	秋山 範雄
〃(北海道・東北地区代表)	工藤 善己	〃(西日本地区代表)	北村 幸三
〃(北海道・東北地区代表)	菅野 智行	〃(西日本地区代表)	児玉 晃
〃(関東地区代表)	宮崎 友次	監事(関東地区代表)	葛西 隆
〃(関東地区代表)	芝波田邦博	〃(北海道・東北地区代表)	鈴木 治光

組織図



会長挨拶

NPO法人 日本躰道協会
 会長 中村 正弘



本年5月25日開催の「NPO法人日本躰道協会」定時総会において会長に選任されました中村正弘でございます。

中島前会長の基本路線を継承し、新たな体制の整備を図りながら協会の使命達成のため努力する決意でございますのでよろしくご指導の程お願い申し上げます。

中島前会長には永年に亘る多大なご功績に深く感謝申し上げるとともに、相談役として今後ともご指導賜ることといたしております。

躰道は、祝嶺正献最高師範により創始され以来43年を経過しておりますが、この間日本を初め世界9カ国に普及され発展して参りました。この躰道は、社会での行動則と融合させた形での訓練手法を採用し、その成果を社会に還元することとしており、21世紀の現代社会に適応し常に創造進化する画期的な武道であって日本が世界に誇る精神的文化遺産であります。

日本躰道協会は、祝嶺最高師範の意思を受け継ぎ、躰道をさらに普及・拡充させることにより社会の発展と世界の平和に貢献すべく、躰道の普及活動を通じ「学術・文化、芸術又はスポーツの振興」、「社会教育の推進」、「子供の健全教育」、「国際協力」、等を行うことにより人類の安定と平和に資することを目的とした公共性の高い武道団体を目指して参ります。

そして何よりも、日本躰道協会は会員の皆様のための協会であります。

会員の方々が躰道を楽しみながら学習し、個々の地域社会や環境の中で、自信と誇りを持って主体的に行動を実践し、その成果を社会に活かして安全で豊かな社会形成に貢献できるよう、各県・地区躰道協会と連携を密にしながら、会員の為の協会として円滑な運営と健全な発展に寄与できるように努力して参ります。

夏から秋にかけて各種全国大会が開催されます。又、21年8月には広島県に於いて世界大会の開催が決定いたしております。協会役員、大会実行委員長、関係者の皆様と一丸となって推進してまいりますので、ご支援・ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

副会長挨拶

NPO法人 日本躰道協会
 副会長 志摩 制基



先日の岩手宮城内陸地震の際には、全国各地の皆様方より心暖まる見舞いの電話やメールをいただき大変ありがとうございました。心より御礼と感謝を申し上げます。

躰道は昭和の時代に生まれてまだ四十数年と歴史の浅い新生武道である。現代社会において躰道の知名度はまだ低い。この現実を謙虚に受け止め多くの人々に躰道の存在と競技内容と理念を理解納得させる必要がある。その為には躰道を学んでいる一人一人が自らが社会世界の中で躰道を通して何になりうるのか、何をなするか。その可能性を武道としての護身活命という手段と思想を基軸点とし自己形成、人間形成、すなわち、主体的な人間になるところに目的をおき、自己の存在意義を確立して行く必要性がある。そして真の実践力を体得体感した時に生れる、無私の行為、献身の行為は、まさに現代倫理の大きな指標となっている。「真実」「正義」「仁愛」の三つの根本徳目を倫理の定説とみとめ、これを主体的に実践確立する事が大切である。さらに躰道が現代社会に存在する武道として、その効用を社会へと還元するために、躰道と社会が共存共栄することで、その時代との調和をはかり、次の時代へと創造を続ける。そして躰道は理性的な創意を時代の流れと共に、創造的に確立され進化して行く。まさに精神と肉体の調和した文化であると言う意味で躰道はまさに「創造」「進化」「平和」「調和」すなわち、人が人のために行う武道とし、いつも大きな理想を掲げ誇りに燃え一歩一歩着実に新時代を拓す旗手であるべきである。その鼓動を皆さんと共に「勇気」と「行動」を持って「響き愛」たいものである。

平成20年度 第1回指導局・審判局研修会開催

平成20年7月12日(土)13日(日)に東京医科歯科大学躰道部の協力のもと、同大学武道場において、定例の平成20年度第1回指導局・審判局研修会が開催され、躰道本院からは近藤範士、高道範士に講師として臨席賜り、中村会長にも参加いただいた中、各県地区の指導・審判局長はじめ指導者総勢45名にのぼる参加を集めました。

この定例研修会も今年で3年目に入り、実技、審判の資質向上、統一化を目指し、工藤指導局長、高道審判局長をはじめ両局スタッフが主体となり、指導者、審判が求める研修内容を年々充実させています。

今回指導局では、21年度大会テーマ「変技」の変体・変陰の法形を確認し、法形基本技の訓練法についての研修を主に行いました。審判局は20年度大会指定法形「運体の法形」・「運陰の法形」の判定についてや、「新限角の攻防」の判定について、また審判のランクごとに別基礎研修などを行いました。

また躰道本院からは、主に実戦競技審判における実技講習などのご指導も賜りました。次回研修会は平成20年2月14日(土)15日(日)にBumB東京スポーツ文化館にて開催予定です。

会員募集

日本躰道協会では躰道普及活動に尽力しています。
 「道場を立ち上げたい」「大学・高等学校に躰道部を設立したい」「稽古場はあるので指導者に来て欲しい」など普及に意欲的な方、ご相談に乗ります。不安なこと、分からない事、疑問等ありましたら、事務局までご一報ください。(E-mail: office@taido.gr.jp Tel: 03-3384-2726 Fax: 03-3380-1408)



第30回全国少年少女剣道優勝大会 第27回全国高校生剣道優勝大会

平成20年8月3日(日)、今年一番の暑さとの予報どおり、朝からの強い陽射しが選手の活気を一層奮い立たせる中、「第30回全国少年少女剣道優勝大会」ならびに「第27回全国高校生剣道優勝大会」が、二代宗家祝嶺正献代工藤依子様、大会会長中村正弘先生(NPO法人日本剣道協会会長)にもご臨席を賜り、東京武道館大武道場で開催されました。

今年度は、少年少女と高校生の大会を大武道場で同日開催するという事で、実行委員会では初めての運営に懸念も抱えておりましたが、各指導者、選手、審判、役員、そしてご父兄の皆様のご協力により、大変素晴らしい大会運営が出来たと自負しております。

当日は出場選手、少年少女199名、高校生60名の合計259名が集い、新潟県代表高柳巴菜選手が選手宣誓したとおり、新しい仲間との友好を深めるとともに、各々が普段の鍛錬の成果を十分に発揮し、とてもレベルの高い試合が行われました。

少年少女大会では、高橋妙理選手(宮城県)が最優秀選手、服部素良選手(静岡県)

地区)が優秀選手に選ばれ、特に服部選手は審判長高道元三朗八段範士の講評の中でもその実戦の内容を讃えられました。

高校生大会では、最優秀選手の該当が居なかった事は残念でしたが、優秀選手賞に平田照彦選手(山梨県京東第三高等学校)、鈴木まみ選手(山形県鶴岡中央高等学校)が選ばれました。

そして特別演武では、千葉県中野哲爾四段練士の法形、そして中野練士と宮城県丹野喜美男四段練士との攻防等を披露していただきました。選手の皆さんには、是非この感動をこれからの練習に生かして欲しいと思います。

また、エコキャップ運動にご協力いただき有難うございました。お蔭様でたくさんのキャップが集まり、実行委員会では大変驚いたところ。些細な事で「何か自分に出来ること」で、社会に貢献する意識を持ち、剣道を学べる事に感謝していれば嬉しいことと思っております。これらは責任を持ってエコキャップ推進委員会に送ります。

最後に、沢山のご支援ご協力を賜り、大会が滞りなく無事に成功を収めましたことに衷心より感謝申し上げます。ここに大会の結果をご報告申し上げます。有難うございました。(記事:大会実行委員長 安部幸史郎(NPO法人日本剣道協会理事長))

第30回全国少年少女剣道優勝大会結果

Table with 3 columns: 優勝 (Winner), 2位 (2nd Place), 3位 (3rd Place). Lists winners for various categories like 男子個人法形小学低, 女子個人法形中学生, etc.

第27回全国高校生剣道優勝大会結果

Table with 3 columns: 優勝 (Winner), 2位 (2nd Place), 3位 (3rd Place). Lists winners for categories like 男子実戦競技, 女子実戦競技, 男子法形競技, etc.



普及活動報告

京都府・木津剣道協会

きっかけは、他府県から奈良に転勤になる方がおり、近場で剣道が出来ないだろうかというものでした。

幸い私の住んでいる木津は奈良に近く、地元の道場で初めて練習をしたのが一昨年の10月頃でした。私とその方の計2名で、突きや蹴り、運身を中心に基本の練習をしてきました。普段あまりやらないであろう練習も取り入れて稽古に励みました。

あれから1年と数ヶ月が経った今、会員の数は5名まで増えました。練習は、地元の体育館や小学校、奈良の武道場を借り、毎週日曜日の午後14時から午後17時まで、約3時間の稽古に励んでいます。

今では体力も最初の頃と比べるとかなりついてきており、基本の突き蹴り、運足八法や基本技等をごなし、応用の練習や、法形の練習、難度の高い運身の練習にも力をいれています。練習は和気あいあいと、笑顔の絶えない楽しい道場をモットーに、とても楽しく練習に励んでいます。しかし、ただ単に楽しいだけではありません。

やはりその過程では当然辛いこともありますし、厳しく指導する時もあります。誰もが最初から「出来る」わけではありません。周り比べて自分が出来ない事が面白くなく、歯がゆい思いをする事もあります。しかし、そこで諦めてしまったら結局は自分のためにはならないと思ひますし、何のために貴重な時間を費やしてまで練習をしているのかわからなくなります。

出来なければ出来ないなりに、一所懸命に努力したり、工夫をしたりして頑張っているうちに、いつの間にか何かの拍子で、「はじめは出来なかったことが急に出来るようになった」という閃きに似た達成感を持ち、それが「やれば出来る」という自信や、「やれば出来るかもしれない」という希望になり、結果として各自の練習に対する姿勢が変わってきたのだと思います。

今後少しでも多くの気づきや発見、今まで出来なかったことが出来るよう、基本、方形を中心に、稽古に励んでいきたいと思っています。(記事:四段練士 菅城成昌)

Sogo Budo Academy International (略称: SBA Inter) 湯河原町剣道協会

剣道の第2の故郷「伊豆」への玄関口、神奈川県湯河原町に、2006年、自宅に併設して道場を建てました。道場名は、最高師範が生前、「全ての武道はいずれ剣道になる」、「剣道学院大学…」と言われていたことと、世界へ剣道を、武道を、日本伝統文化を発信したいという思いから命名しました。2007年8月より、子供の成長発達に応じた練習方法を考案し、試験的に子供達への指導を始め、現在は2~5歳の子供達6人に指導しています。かつて、武闘は入門するにもいくつもの関門があり、奥伝を授けられるにもいくつもの関門があり、これにより正統な技法・理念を伝承できていました。現在は誰でも何処でも武道を学べる環境にあります。SBA Interでは、敢えて、入門は完全紹介制、正式入門に至るまでにも体験入

門→仮入門→正式入門というstepを踏むこととしています。次世代を担う子供達に、剣道のみならず、日本の伝統文化を伝え、真の国際人を育てていきたいと思っています。

その他、防衛医大剣道部・翔雲会合宿、三鷹高校剣道部OB・OGとその子供達によるOYAJI合宿などを行ってます。

まだまだ、第一歩が始まったばかりですが、ご指導、ご鞭撻のほど、よろしくお願ひします。

現在、子供達の指導をお手伝いしてくれる方、募集中です。(記事:六段教士 十河 剛)

Large table titled '平成二十年 審査結果(二)七月実施分 少年の部' listing winners and participants for various judo categories across different prefectures and schools.